

第6学年 学級活動（人権）学習指導案

1 主題 共に生きる

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

すべての人々が尊重される社会の実現のために、互いの違いを認め合い、理解することで、共に生きていこうとする態度を育てる。

4 指導計画

（1）これまでの学習

道徳科「この胸の痛みを」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

道徳科「宙に消えた『ありがとう』」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

（2）本時の学習

学級活動「『共に生きる』とは何か」

（よりよい人間関係の形成）



（3）これからの学習

学級活動「自分の生き方を振り返ろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

5 本時の学習

（1）目 標



「共に生きる」ことの大切さについて再度考え、それを実践するために自分自身と向き合い、行動しようとする。

（2）普遍的な学習のテーマ 共に生きる

（3）展 開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 「共に生きる」ことについて確認し、本時のめあてをつかむ。	○「宙に消えた『ありがとう』」で学んだことを「ふたばdeシート」で振り返らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どうすれば「共に生きる」で学んだことを生かせる学級にできるだろう。</p> </div>	
2 みんなが学んだことを生かすために何が必要か考え、話し合う。	○「共に生きる」ために必要なことは学んでいるのに、生かされていないことを受け止め、本当に相手を思いやることが何かについて考えさせる。 ②
3 話し合ったことを参考にして、自分の生き方について考え、発表する。	○自分の生活を見つめ直し、これからどのような行動をとって生活していくことが大切か、「ふたばdeシート」に書かせる。 ①
4 本時のまとめをする。	○「ふたばdeシート」に学んだことや考えたことを書かせる。

（4）評 価

○「共に生きる」ことの大切さについて考え、それを実践するために自分自身と向き合い、行動しようとすることができたか。 【価値的・態度的側面】①

○友達の考えを受け止めながら、自分の考えを伝えることができる。 【技能的側面】②